

第3期

運用報告書(全体版)

岡三フィデリティ・グローバル・コア 株式ファンド(為替ヘッジなし) (愛称 ザ・ディスカバリー)

【2024年3月27日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
皆様の「岡三フィデリティ・グローバル・コア株式
ファンド(為替ヘッジなし)(愛称 ザ・ディスカバ
リー)」は、2024年3月27日に第3期決算を迎えまし
たので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し
上げます。
今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し
上げます。

SBI 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社投信営業部へ

フリーダイヤル ☎0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

お取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

[ホームページ]

<https://www.sbiokasan-am.co.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	2022年9月21日から2045年9月27日までです。	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として米国を中心に世界の取引所に上場されている中型企業の株式* (これに準ずるものを含みます。)等に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 ※中型企業の株式とは、主要な株価指数において中型株式に分類されている銘柄およびそれと同等の時価総額の銘柄をいいます。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)およびマネー・インベストメント・マザーファンドⅡを主要投資対象とします。
	フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	フィデリティ・グローバル・コア株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国を中心に世界(日本を含みます。)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式を主要な投資対象とします。
	マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
投資制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	年2回、3月および9月の各月の27日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マネー・インベストメント・マザーファンドⅡの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			MSCI World Index (配当込、円換算ベース)		MSCI World Index (税引後配当込み) (円換算後)		債 券 組 入 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 率	参 考 指 数	期 騰 落 率	参 考 指 数	期 騰 落 率			
(設定日)	円	円	%	ポイント	%	ポイント	%	%	%	百万円
2022年9月21日	10,000	-	-	1,120,750	-	-	-	-	-	5,500
1期(2023年3月27日)	9,141	0	△ 8.6	1,083,630	△ 3.3	-	-	0.1	97.7	8,640
2期(2023年9月27日)	10,766	0	17.8	1,316,640	21.5	-	-	0.2	98.2	11,128
3期(2024年3月27日)	12,738	0	18.3	-	-	1,619,190.4803	-	0.1	98.0	12,237

(注) 基準価額および分配金（税引前）は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金（税引前）込み。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。

(注) MSCI World Index（配当込、円換算ベース）およびMSCI World Index（税引後配当込み）〔円換算後〕は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

MSCI World Index（配当込、円換算ベース）は当該日前営業日の現地終値です。MSCI World Index（税引後配当込み）〔円換算後〕は、当該日前営業日の現地終値に為替レート（対顧客電信売買相場の当日（東京）の仲値）を乗じて当社が算出しています。

(注) 2023年12月29日にMSCI World Index（配当込、円換算ベース）からMSCI World Index（税引後配当込み）〔円換算後〕に参考指数を変更いたしました。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額		MSCI World Index (配当込、円換算ベース)		MSCI World Index (税引後配当込み) (円換算後)		債 券 組 入 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
	騰 落 率	参 考 指 数	騰 落 率	参 考 指 数	騰 落 率	参 考 指 数		
(期首)	円	%	ポイント	%	ポイント	%	%	%
2023年9月27日	10,766	-	1,316,640	-	-	-	0.2	98.2
9月末	10,934	1.6	1,325,780	0.7	-	-	0.2	98.1
10月末	10,207	△ 5.2	1,278,800	△ 2.9	-	-	0.2	97.7
11月末	10,785	0.2	1,383,020	5.0	-	-	0.2	98.0
12月末	11,290	4.9	-	-	1,405,947.7416	-	0.2	97.6
2024年1月末	11,754	9.2	-	-	1,490,557.4775	-	0.1	98.0
2月末	12,349	14.7	-	-	1,564,140.8281	-	0.1	97.5
(期末)								
2024年3月27日	12,738	18.3	-	-	1,619,190.4803	-	0.1	98.0

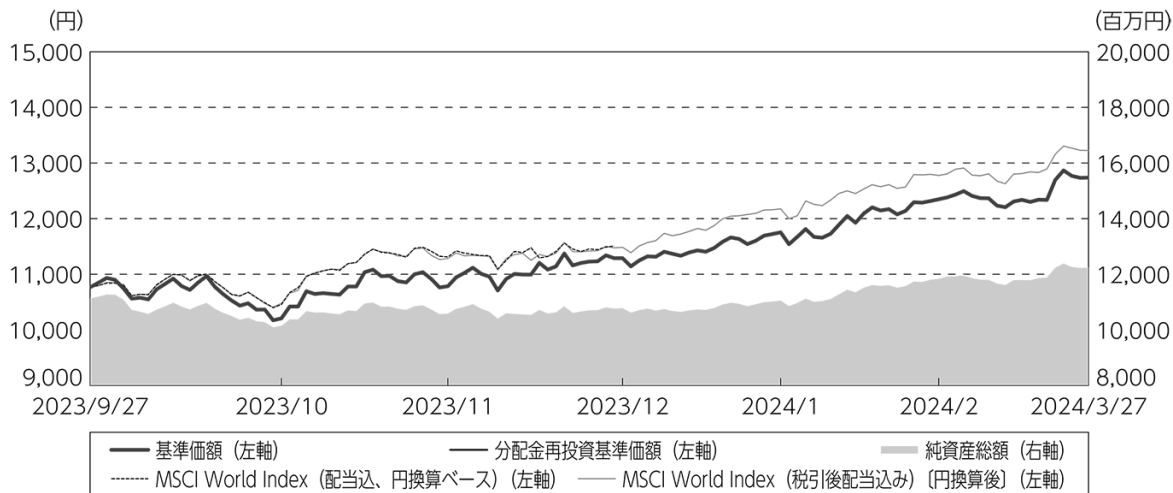
(注) 騰落率は期首比。

MSCI指数はMSCI Inc. が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2023年9月28日～2024年3月27日）



期首：10,766円

期末：12,738円（既払分配金（税引前）：0円）

騰落率：18.3%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、MSCI World Index（配当込、円換算ベース）およびMSCI World Index（税引後配当込み）〔円換算後〕です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2023年9月27日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 2023年12月29日にMSCI World Index（配当込、円換算ベース）からMSCI World Index（税引後配当込み）〔円換算後〕に参考指数を変更いたしました。そのため、MSCI World Index（配当込、円換算ベース）の推移は2023年12月28日までを記載、MSCI World Index（税引後配当込み）〔円換算後〕の推移は見やすさの観点から期首（2023年9月27日）より記載しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・米国の衣料品株や公益株、電子機器メーカー株、イタリアの衣料品株の株価上昇がプラス要因となりました。個別銘柄では、PVH CORP、VISTRA CORP、FLEX LTD、BRUNELLO CUCINELLI SPAなどの組入れがプラス要因となりました。

(主なマイナス要因)

- ・米国の包装メーカー株、インドの事務管理サービス株、アイルランドの自動車部品株の株価下落がマイナスに影響しました。個別銘柄では、O-I GLASS INC、WNS HOLDINGS LTD、APTIV PLCの株価下落がマイナスに影響しました。

投資環境

（2023年9月28日～2024年3月27日）

当期の世界主要国の株式市場は概ね上昇しました。期初から2023年10月にかけては、米国では、高水準のインフレを受けて、金融引き締め長期化懸念の高まりから下落しました。欧州では、中東情勢の不透明感の高まりや欧州企業の冴えない決算発表を背景に下落しました。11月は、米国では、金融政策が引き締め局面から転換していくとの期待から上昇しました。欧州では、好調な企業決算を背景に素材や情報技術など幅広い業種に買いが入りました。12月は、米国では、インフレが落ち着いていくとの観測が強まり、株式市場では安心感が広がり上昇しました。欧州では、欧州中央銀行（ECB）高官のハト派的な発言を受けて利下げ観測が強まったことが好感され上昇しました。2024年1月は、米国では、生成AI（人工知能）が本格的に普及していくとの観測や企業の決算が市場予想を上回ったことを背景に上昇しました。欧州では、米国の早期利下げ期待の後退が嫌気された一方、好調な決算を受けてテクノロジー株を中心に上昇しました。2月から期末にかけては、米国では、良好な企業決算の発表が相次ぎ上昇しました。欧州では、米半導体大手の好決算や米国株式の上昇基調を受けて上昇しました。

為替（米ドル/円）は、期中に小幅ながら上昇（米ドル高/円安）する展開となりました。期初から2023年10月にかけては日米の金利差拡大を背景に、米ドル/円は上値を試す展開となりました。その後、12月にかけては、米国における2024年の利下げが意識されるなか、米ドル/円は反落しました。2024年に入ってから、米国の早期利下げ観測が後退したことに加え、日銀によるマイナス金利の解除後も緩和的な金融政策を維持されるとの見方を背景に、米ドル/円は上昇する展開となりました。

国内短期金融市場では、2023年10月末の日銀の金融政策決定会合を前に金融政策の修正観測が広がったことから、1年国債利回りは0%近辺まで上昇しましたが、11月に入ってから国内外の主要経済指標が軟調な結果となったことを受け、1年国債利回りは-0.10%近辺まで低下しました。その後、日銀がマイナス金利政策の解除に前向きとの見方が強まるなか、1年国債利回りは徐々に上昇する動きとなり、2024年2月下旬以降は0%を上回る展開となりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2023年9月28日～2024年3月27日）

<岡三フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド（為替ヘッジなし）（愛称 ザ・ディスカバリー）>

「フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」、「マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ」を主要投資対象とし、「フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」を高位に組み入れて運用を行いました。

○フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

「フィデリティ・グローバル・コア株式マザーファンド」の受益証券への投資を通じて、主として米国を中心に世界の金融商品取引所に上場されている中型企業の株式に投資を行い、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いました。

個別銘柄選択にあたっては、世界の主要拠点のアナリストによる徹底的な企業分析や直接面談による調査を活かした「ボトム・アップ・アプローチ」により、魅力的な投資機会の発掘に注力しました。当期においては、インフレおよび金利上昇に対する耐性や、収益成長力に対する株価の割安さを重視して銘柄選択を行った結果、金融セクターや資本財・サービスセクターの投資比率を高めに維持しました。

実質組入外貨建資産につきましては、運用の基本方針に則り、為替ヘッジは行いませんでした。

○マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とした運用を行いました。当期間中は、政府保証債を組み入れました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2023年9月28日～2024年3月27日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。参考指数は、2023年12月28日まではMSCI World Index（配当込、円換算ベース）でしたが、2023年12月29日以降は、MSCI World Index（税引後配当込み）〔円換算後〕に変更いたしました。このため、当期中に参考指数が変更となったことからファンドとの比較ができないため、「基準価額と参考指数の対比（騰落率）」の掲載は行っておりません。

分配金

（2023年9月28日～2024年3月27日）

当ファンドは年2回、3月および9月の各月の27日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。

当期の分配につきましては、見送りとさせていただきます。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行います。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第3期
	2023年9月28日～ 2024年3月27日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,738

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（投資環境の見通し）

米国では、米連邦準備制度理事会（FRB）による利下げ開始時期を模索する展開が続いています。景気や金融政策の先行きに注目が集まるなか、市場では企業ファンダメンタルズが強いものの、魅力的なバリュエーション水準となっている企業が見られました。足元のような環境では特にバリュエーションやキャッシュフロー創出力に注目する必要があります。昨今は情報技術セクターが市場をけん引する形となりましたが、今後は幅広い業種の中から投資妙味の高い銘柄に着目する必要があると見ています。

為替市場（米ドル／円）は高水準の日米金利差が維持されていることを背景に、当面は円安地合いが継続しやすいと予想します。一方、一段の円安が進む場合には、政府・日銀による為替介入も想定され、米ドル／円の動きが激しくなる展開が予想されます。

国内短期金融市場は、追加利上げ観測が根強いことから1年国債利回りが上昇する場面もあると見ています。ただ、日銀が追加利上げを急がない考えを示していることから、1年国債利回りは0～0.1%程度を中心に推移する展開を想定しています。

<岡三フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド（為替ヘッジなし）（愛称 ザ・ディスカバリー）>

「フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」を高位に組み入れて運用を行います。

○フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

引き続き「フィデリティ・グローバル・コア株式マザーファンド」受益証券を組み入れることにより、実質的な運用を当該マザーファンドにおいて行います。

運用においては市場の短期的な動きに惑わされず、長期的な企業ファンダメンタルズに照らして、割安な株価水準で投資をすることがこれまで以上に求められます。ファンドでは徹底した企業調査を行い、市場の見誤りに気付く、確信を持てる優れた企業に投資することで、長期的な運用成果を目指す方針です。

実質組入外貨建資産につきましては、運用の基本方針に則り、為替ヘッジは行わない方針です。

○マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益確保を目的に運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2023年9月28日～2024年3月27日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(21)	(0.191)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(48)	(0.427)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.011)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.007	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託支払手数料
合 計	72	0.636	
期中の平均基準価額は、11,219円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

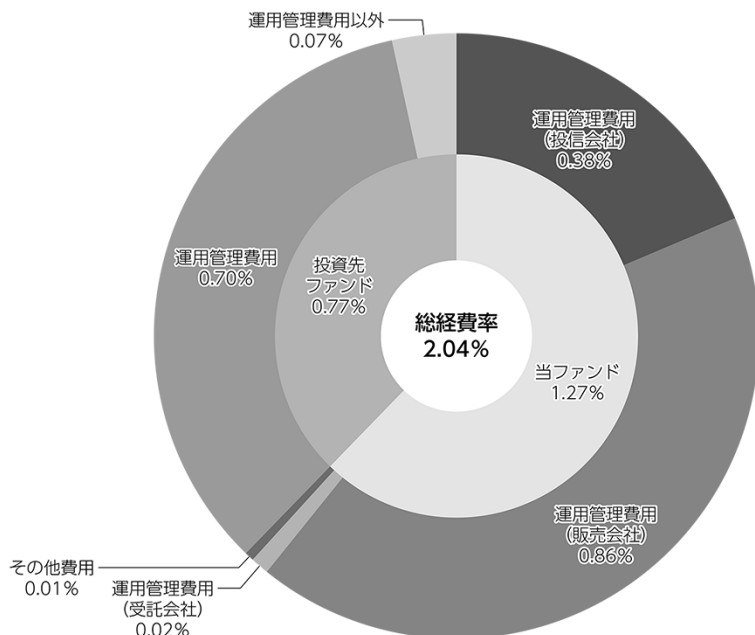
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.04%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	2.04
①当ファンドの費用の比率	1.27
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.70
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.07

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2023年9月28日～2024年3月27日）

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	351,988,626	424,000	1,180,736,172	1,321,000

（注）金額は受渡代金。

（注）単位未満は切捨て。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
	マネー・インベストメント・マザーファンドII	2,201	2,200	1,400	1,400

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2023年9月28日～2024年3月27日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2024年3月27日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		期首(前期末)	当期末		
		口数	口数	評価額	比率
	フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	10,013,647,389	9,184,899,843	11,991,805	98.0%
合計		10,013,647,389	9,184,899,843	11,991,805	98.0%

（注）比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ		22,302	23,103	23,087

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年3月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円	%
	11,991,805	96.6
マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ	23,087	0.2
コール・ローン等、その他	396,203	3.2
投資信託財産総額	12,411,095	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2024年3月27日現在）

項目	当期末	円
(A) 資産	12,411,095,417	
コール・ローン等	396,202,095	
投資信託受益証券(評価額)	11,991,805,235	
マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ(評価額)	23,087,521	
未収利息	566	
(B) 負債	173,748,908	
未払解約金	103,834,290	
未払信託報酬	69,190,277	
その他未払費用	724,341	
(C) 純資産総額(A-B)	12,237,346,509	
元本	9,606,823,849	
次期繰越損益金	2,630,522,660	
(D) 受益権総口数	9,606,823,849口	
1万口当たり基準価額(C/D)	12,738円	

- (注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.2738円です。
 (注) 当ファンドの期首元本額は10,336,681,083円、期中追加設定元本額は2,047,927,665円、期中一部解約元本額は2,777,784,899円です。

○損益の状況（2023年9月28日～2024年3月27日）

項目	当期	円
(A) 配当等収益	△ 29,594	
受取利息	4,277	
支払利息	△ 33,871	
(B) 有価証券売買損益	1,830,989,482	
売買益	1,977,050,826	
売買損	△ 146,061,344	
(C) 信託報酬等	△ 69,924,663	
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,761,035,225	
(E) 前期繰越損益金	424,121,829	
(F) 追加信託差損益金	445,365,606	
(配当等相当額)	(99,935,079)	
(売買損益相当額)	(345,430,527)	
(G) 計(D+E+F)	2,630,522,660	
(H) 収益分配金	0	
次期繰越損益金(G+H)	2,630,522,660	
追加信託差損益金	445,365,606	
(配当等相当額)	(99,936,969)	
(売買損益相当額)	(345,428,637)	
分配準備積立金	2,185,157,054	

- (注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) 収益分配金

決算期	第3期
(a) 配当等収益(費用控除後)	23,737円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	1,761,007,981円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	445,365,606円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	424,125,336円
分配対象収益(a+b+c+d)	2,630,522,660円
分配対象収益(1万口当たり)	2,738円
分配金額	0円
分配金額(1万口当たり)	0円

〈お知らせ〉

2024年1月から開始されるNISA成長投資枠への対応を目的として、デリバティブ取引に係る利用目的の明確化および信託期間の延長に関する投資信託約款の変更を行いました。(実施日:2023年12月23日)

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2024年3月27日現在）

<マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ>

下記は、マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ全体（66,648千口）の内容です。

国内公社債

(A) 国内（邦貨建）公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
特殊債券 (除く金融債)	千円 52,000 (52,000)	千円 52,066 (52,066)	% 78.2 (78.2)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 78.2 (78.2)
合 計	52,000 (52,000)	52,066 (52,066)	78.2 (78.2)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	78.2 (78.2)

(注) ()内は非上場債券で内書きです。

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内（邦貨建）公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
特殊債券(除く金融債)	%	千円	千円	
第213回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.645	3,000	3,000	2024/3/29
第218回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.66	6,000	6,007	2024/5/31
第222回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.601	5,000	5,010	2024/7/31
第6回政府保証地方公共団体金融機構債券(8年)	0.001	10,000	9,998	2024/9/27
第61回政府保証地方公共団体金融機構債券	0.644	21,000	21,029	2024/6/14
第65回政府保証地方公共団体金融機構債券	0.539	7,000	7,021	2024/10/16
合 計		52,000	52,066	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のお引き立てにあずかり、厚くお礼申し上げます。
さて、「フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)」は、第2期の決算を行ないました。当ファンドは、主として米国を中心に世界(日本を含みます。)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている中型企業の株式に投資を行ない、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/株式				
信託期間	2022年9月22日から2045年9月19日まで				
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ●フィデリティ・グローバル・コア株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国を中心に世界(日本を含みます。)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている中型企業の株式に投資を行ない、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。 ●FIAM LLCに、運用の指図に関する権限を委託します。 				
主要運用対象	<table border="1"> <tr> <td>ベビーフンド</td> <td>フィデリティ・グローバル・コア株式マザーファンド受益証券を主要な投資対象とします。</td> </tr> <tr> <td>マザーファンド</td> <td>米国を中心に世界(日本を含みます。)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式を主要な投資対象とします。</td> </tr> </table>	ベビーフンド	フィデリティ・グローバル・コア株式マザーファンド受益証券を主要な投資対象とします。	マザーファンド	米国を中心に世界(日本を含みます。)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式を主要な投資対象とします。
ベビーフンド	フィデリティ・グローバル・コア株式マザーファンド受益証券を主要な投資対象とします。				
マザーファンド	米国を中心に世界(日本を含みます。)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式を主要な投資対象とします。				
組入制限	<table border="1"> <tr> <td>ベビーフンド</td> <td>株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</td> </tr> <tr> <td>マザーファンド</td> <td>株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</td> </tr> </table>	ベビーフンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。	マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
ベビーフンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。				
マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。				
分配方針	<p>毎決算時(原則毎年3月5日。同日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の方針に基づき分配を行ないます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ●収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行なうものではありません。 ●留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行ないます。 				

〈お問合せ先〉

フィデリティ投信株式会社 カスタマー・コミュニケーション部
東京都港区六本木七丁目7番7号 TRI-SEVEN ROPPONGI

 0120-00-8051 (無料)

受付時間: 営業日の午前9時～午後5時

 <https://www.fidelity.co.jp/>

お客様の口座内容などに関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお尋ねください。

フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド (為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)

フィデリティ投信株式会社



■設定以来の運用実績

決算期	基準価額			（参考指数） [※]		株式組入比率等	株式先物比率	投資証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込分配金	期中騰落率	MSCI ワールド・インデックス（税引前配当金込/円ベース）	期中騰落率				
（設定日） 2022年9月22日	円 10,000	円 —	% —	1,621,999.47	% —	% —	% —	% —	百万円 5,390
1期（2023年3月6日）	10,509	0	5.1	1,694,634.32	4.5	90.8	—	5.7	9,400
2期（2024年3月5日）	12,789	0	21.7	2,305,170.53	36.0	95.9	—	3.8	11,738

※当ファンドは、ベンチマークを設定していません。参考指数としてMSCI ワールド・インデックス（税引前配当金込/円ベース）を記載しております。

MSCI ワールド・インデックスとは、MSCI Inc. が算出する、世界主要国の株式市場の動きを示す指数です。MSCI ワールド・インデックスに関する著作権、およびその他の知的財産権はMSCI Inc. に帰属しております。MSCI Inc. が指数構成銘柄への投資を推奨するものではなく、MSCI Inc. は当指数の利用に伴う如何なる責任も負いません。MSCI Inc. は情報の確実性および完結性を保証するものではなく、MSCI Inc. の許諾なしにデータを複製・頒布・使用等することは禁じられております。

MSCI ワールド・インデックス（税引前配当金込/円ベース）は、WM Reutersが発表する換算レートをもとに委託会社が算出しています。

（注1）当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率等」「株式先物比率」「投資証券組入比率」は実質比率を記載しております。

（注2）設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

（注3）（設定日）参考指数はファンド設定日前営業日（2022年9月21日）の値です。

（注4）新株予約権証券の組入がある場合には、「株式組入比率等」に含みます。

（注5）株式先物比率＝買建比率－売建比率

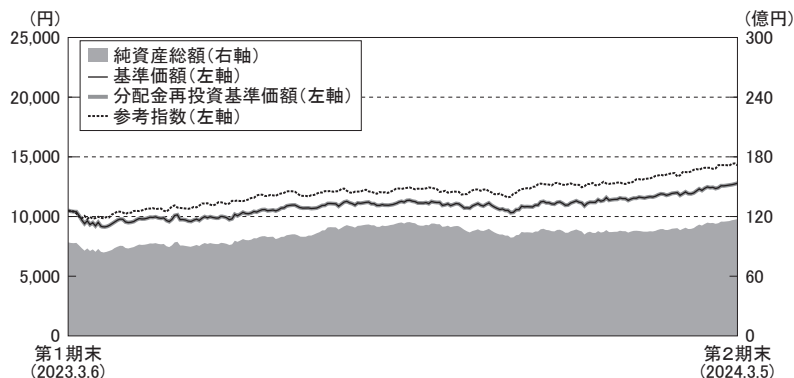
■当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		（参考指数）		株式組入比率等	株式先物比率	投資証券組入比率
		騰落率	MSCI ワールド・インデックス（税引前配当金込/円ベース）	騰落率			
（期首） 2023年3月6日	円 10,509	% —	1,694,634.32	% —	% 90.8	% —	% 5.7
3月末	9,675	△7.9	1,679,949.77	△0.9	89.5	—	5.6
4月末	9,765	△7.1	1,749,771.79	3.3	92.6	—	5.7
5月末	9,902	△5.8	1,778,838.50	5.0	93.2	—	5.5
6月末	10,888	3.6	1,952,197.32	15.2	94.9	—	5.1
7月末	11,038	5.0	1,983,988.90	17.1	94.4	—	5.3
8月末	11,269	7.2	1,985,208.92	17.1	94.7	—	4.5
9月末	11,091	5.5	1,947,774.85	14.9	94.0	—	4.5
10月末	10,354	△1.5	1,919,863.76	13.3	93.7	—	4.3
11月末	10,967	4.4	2,050,761.36	21.0	94.5	—	4.4
12月末	11,503	9.5	2,052,362.37	21.1	94.1	—	4.4
2024年1月末	12,000	14.2	2,154,018.56	27.1	96.1	—	4.2
2月末	12,635	20.2	2,299,886.39	35.7	96.9	—	3.8
（期末） 2024年3月5日	12,789	21.7	2,305,170.53	36.0	95.9	—	3.8

（注）騰落率は期首比です。

■運用経過の説明

●基準価額等の推移



第2期首:10,509円
 第2期末:12,789円(既払分配金0円)
 騰落率:21.7%(分配金再投資ベース)

(注)分配金再投資基準価額および参考指数は、2023年3月6日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※参考指数は「MSCI ワールド・インデックス(税引前配当金込/円ベース)」です。

●基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドの騰落率は、+21.7%でした。

当ファンドは、フィデリティ・グローバル・コア株式マザーファンド受益証券を組み入れることにより実質的な運用を当該マザーファンドに行っております。

<プラス要因>

株式相場が上昇したこと。米ドルが対円で上昇し、円安となったこと。

<マイナス要因>

特になし。

●投資環境

当期の株式相場は総じて上昇しました。当期の主要株価指数の騰落率は、世界株式（MSCIワールド）+20.8%、米国株式（S&P500種指数）+25.4%、欧州株式（MSCIヨーロッパ）+5.6%、日本株式（東証株価指数）+33.6%でした。（いずれも現地通貨ベース）

期初から2023年4月にかけては、米国では、金融不安による経済活動への影響が警戒されたものの、米国株式市場では大きな混乱がなく、小幅ながら総じて上昇する展開となりました。日本では、東証の企業に対する経営改善の要請などを背景に日本株への期待が広がるなか、海外投資家による買い越し基調が継続し、上昇しました。5月は、米国では、追加利上げを巡る警戒感が根強く、まちまちの展開となりました。欧州では、欧州中央銀行（ECB）が小幅な利上げを発表し、金融引き締めを継続する姿勢を示したことから相場は下落しました。また、4月の英消費者物価指数（CPI）が市場予想を上振れ、イングランド銀行（BOE）による金融引き締めの長期化が懸念されたことも重石となりました。6月は、米国では、今後の追加利上げが想定されるものの、利上げサイクルの終了が意識されるようになり、投資家心理が改善しました。日本では、海外投資家からの資金流入が続くなか、日銀が金融緩和と政策を維持したことなどを背景に上昇しました。7月は、米国では、インフレ懸念が後退し、景気悪化への警戒感が和らぎました。良好な雇用環境が続いていることから、景気の先行きに楽観的な見方が広がって上昇しました。日本では、日銀短観で企業の景況感が改善したことが好感されたものの、日銀が金融緩和策を修正したことを受け、軟調に推移する場面が見られました。その後、米国株の上昇や円安推移が追い風となり、日本株は上昇しました。8月から9月にかけては、米国では、根強いインフレ圧力や景気の底堅さなどから追加利上げの可能性が意識され、米長期金利が上昇するなかで株式市場は下落しました。欧州では、域内の軟調な経済指標や、中国の不動産大手企業の経営不安を背景に中国の景気後退懸念が再燃したことも嫌気され、欧州株は下落しました。

10月は、米国では、高水準のインフレを受けて、追加利上げなど、金融引き締めの長期化が投資家心理を悪化させ、下落しました。日本では、高止まりする米長期金利を背景に景気後退が警戒され、下落しました。欧州では、中東情勢の不透明感の高まりや欧州企業の高さえない決算発表を背景に下落しました。11月は、米国では、金融政策が引き締める局面から転換していくとの期待から、上昇しました。日本では、米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げの打ち止め観測が強まり米国株が堅調に推移する中で、日本株も上昇しました。欧州では、好調な企業決算を背景に素材や情報技術など幅広い業種に買いが入りました。12月は、米国では、インフレが落ち着いていくとの観測が強まり、株式市場では安心感が広がりました。金融政策は利上げ局面が終了し、2024年には利下げに転じるとの楽観的な見方も台頭する中、米国株は上昇しました。日本では、米国で早期の利下げ観測が高まり、騰勢を強めた米国株の動きが支えとなる一方で、米長期金利の低下に伴う円高進行や日本の政治の不透明感などが嫌気され、日本株は下落しました。欧州では、ECB高官のハト派的な発言を受けて利下げ観測が強まったことが好感され、欧州株は上昇しました。2024年1月は、米国では、生成AIが本格的に普及していくとの観測や企業の決算が市場予想を上回ったことを背景に、上昇しました。日本では、世界的に半導体需要の拡大期待が強まる中で関連銘柄を中心に日本株は上昇しました。欧州では、米国の早期利下げ期待が後退したことが嫌気された一方、好調な決算を受けてテクノロジー株を中心に欧州株は上昇しました。2月から期末にかけては、米国では、米国企業で良好な決算の発表が相次ぎ、上昇しました。日本では、主要企業が好決算や株主還元策を発表する中、上昇しました。欧州では、米半導体大手の好決算や米国株式の上昇基調を背景に欧州株は上昇しました。

当期の米ドル／円相場は約10.3%の円安・米ドル高（1米ドル＝135.94円→150.00円）でした。（WMロイター使用）

●ポートフォリオ

当ファンドは、フィデリティ・グローバル・コア株式マザーファンド受益証券を通じて投資をしております。以下、フィデリティ・グローバル・コア株式マザーファンドについて記載しています。

当ファンドは、主として米国を中心に世界（日本を含みます。）の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている中型企業の株式に投資を行ない、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。個別銘柄選択にあたっては、世界の主要拠点のアナリストによる徹底的な企業分析や直接面談による調査を活かした「ボトム・アップ・アプローチ」により、魅力的な投資機会の発掘に注力します。

当期において、当ファンドは上記方針に沿った運用を行いました。なお、当ファンドにおける組入上位10業種の比率は以下の通りとなりました。

組入上位10業種

前期末

	業種	比率
1	資本財	15.4%
2	エネルギー	8.3
3	銀行	7.9
4	保険	7.6
5	素材	7.6
6	不動産	6.3
7	ソフトウェア・サービス	5.7
8	消費者サービス	5.2
9	ヘルスケア機器・サービス	5.0
10	公益事業	4.7

当期末

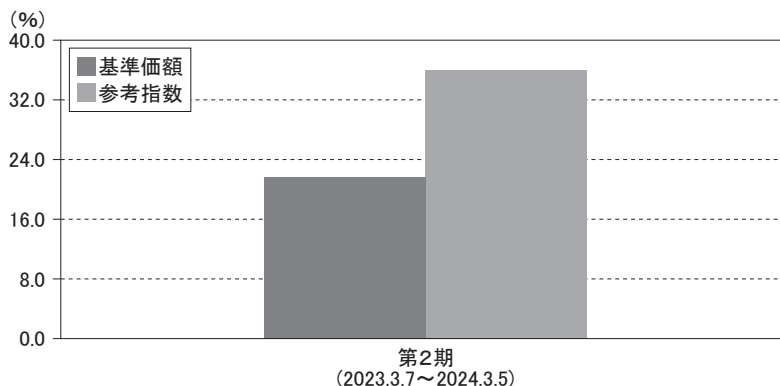
	業種	比率
1	資本財	16.6%
2	保険	7.4
3	素材	7.0
4	耐久消費財・アパレル	5.6
5	エネルギー	5.5
6	銀行	5.3
7	公益事業	5.0
8	ヘルスケア機器・サービス	5.0
9	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	5.0
10	商業・専門サービス	5.0

(注)「比率」欄は、マザーファンドの純資産総額に対する割合です。

●ベンチマークとの差異

当ファンドは、ベンチマークを設定していません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

当ファンドの基準価額と参考指数の対比(期別騰落率)



(注)基準価額の騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

※参考指数は「MSCI ワールド・インデックス(税引前配当金込/円ベース)」です。

■分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては投資信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

●分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第2期
	2023年3月7日～2024年3月5日
当期分配金	0
（対基準価額比率）	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	2,788

- * 「当期の収益」および「当期の収益以外」は円未満切捨てのため、合計額が「当期分配金」と一致しない場合があります。
- * 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- * 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」が当該決算期末日時点の基準価額を上回ることがありますが、実際には基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

■今後の運用方針

当ファンドにつきましては、引き続きフィデリティ・グローバル・コア株式マザーファンド受益証券を組み入れることにより、実質的な運用を当該マザーファンドにて行います。

米国では、中央銀行による利下げ開始時期を模索する展開が続いています。景気や金融政策の先行きに注目が集まる中、市場では企業ファンダメンタルズが強いものの、魅力的なバリュエーション水準となっている企業が見られました。企業ファンダメンタルズに着目する運用方針はマクロ動向によって変化することはなく、市場が気付いておらず、着実かつ大幅な利益成長が見込める銘柄を徹底した分析で見出すことに注力します。足元のような環境では特にバリュエーションやキャッシュフロー創出力に注目する必要があります。足元にかけては情報技術セクターが市場をけん引する形となりましたが、今後は幅広い業種の中から投資妙味の高い銘柄に着目し、ボトム・アップの企業調査による選別が重要と考えています。また、ボラティリティが高まりやすい今のような局面は、市場が見誤っている有望な銘柄に割安な株価で投資をする好機につながります。引き続き、徹底した企業調査を行い、市場の見誤りに気付き、確信を持てる優れた企業に投資することで、長期的な運用成果を目指す方針です。

■ 1万口（元本10,000円）当たりの費用明細

項目	第2期		項目の概要
	2023年3月7日～2024年3月5日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	77円 (74) (1) (2)	0.713% (0.680) (0.011) (0.022)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額(月末値の平均値)は10,836円です。 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの 管理及び事務手続き等の対価 運用財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株式) (投資証券)	4 (4) (0)	0.037 (0.033) (0.004)	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権総口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株式)	1 (1)	0.007 (0.007)	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	8 (7) (0) (0)	0.071 (0.066) (0.002) (0.003)	(d) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 保管費用は、有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等のために、海外 における保管銀行等に支払う費用。また、信託事務の諸費用等が含まれます。 監査費用は、ファンドの監査人等に対する報酬及び費用 その他には、法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、 印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含ま れます。
合計	90	0.827	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 「金額」欄は、各項目毎に円未満を四捨五入しています。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 親投資信託受益証券の設定、解約状況（2023年3月7日から2024年3月5日まで）

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
フィデリティ・グローバル・コア株式マザーファンド	千口 1,865,560	千円 2,011,025	千口 1,690,339	千円 1,874,320

(注) 金額の単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	フィデリティ・グローバル・コア株式マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	13,169,044千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	11,721,021千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	1.12

(注1) 売買高比率は小数点以下2位未満切捨て。

(注2) 期中の株式売買金額には、増資、配当株式等は含まれておりません。なお、単位未満は切捨て。

(注3) 期中の平均組入株式時価総額は、月末に残高がない月数を除いた単純平均とし、単位未満は切捨て。

(注4) 外貨建株式の邦貨換算は、期中の株式売買金額、期中の平均組入株式時価総額とも各月末(決算日の属する月については決算日)の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

■利害関係人との取引状況等（2023年3月7日から2024年3月5日まで）

期中における当ファンドに係る利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2024年3月5日現在）

●親投資信託残高

種 類	期首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
フィデリティ・グローバル・コア株式マザーファンド	千口 8,912,831	千口 9,088,052	千円 11,738,128

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成（2024年3月5日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
フィデリティ・グローバル・コア株式マザーファンド	千円 11,738,128	% 99.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	38,498	0.3
投 資 信 託 財 産 総 額	11,776,627	100.0

(注1) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、3月5日における邦貨換算レートは1アメリカ・ドル=150.42円、1カナダ・ドル=110.81円、1イギリス・ポンド=190.94円、1ユーロ=163.27円です。

(注2) フィデリティ・グローバル・コア株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建資産(14,087,979千円)の投資信託財産総額(14,088,665千円)に対する比率は、100.0%です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年3月5日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資 産	11,776,627,497	
フィデリティ・グローバル・コア 株式マザーファンド(評価額)	11,738,128,952	
未 収 入 金	38,498,545	
(B) 負 債	38,053,355	
未 払 信 託 報 酬	37,875,090	
そ の 他 未 払 費 用	178,265	
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	11,738,574,142	
元 本	9,178,757,467	
次 期 繰 越 損 益 金	2,559,816,675	
(D) 受 益 権 総 口 数	9,178,757,467口	
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C/D)	12,789円	

(注1) 当期における期首元本額8,945,222,640円、期中追加設定元本額1,872,428,894円、期中一部解約元本額1,638,894,067円です。

(注2) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

■損益の状況

当期 自2023年3月7日 至2024年3月5日

項 目	当 期	円
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	2,127,284,438	
売 買 益	2,207,359,375	
売 買 損	△80,074,937	
(B) 信 託 報 酬 等	△73,580,194	
(C) 当 期 損 益 金 (A+B)	2,053,704,244	
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	335,123,029	
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	170,989,402	
(配 当 等 相 当 額)	(77,139,360)	
(売 買 損 益 相 当 額)	(93,850,042)	
(F) 合 計 (C+D+E)	2,559,816,675	
次 期 繰 越 損 益 金 (F)	2,559,816,675	
追 加 信 託 差 損 益 金	170,989,402	
(配 当 等 相 当 額)	(79,512,379)	
(売 買 損 益 相 当 額)	(91,477,023)	
分 配 準 備 積 立 金	2,388,827,273	

(注1) (A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示していません。

(注3) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、純資産総額に対して年0.45%以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

(注5) 分配金の計算過程は以下の通りです。

	当 期
(a) 費用控除後の配当等収益	152,245,861円
(b) 費用控除後・繰越欠損金補填後の 有価証券売買等損益	1,901,458,383円
(c) 収益調整金	170,989,402円
(d) 分配準備積立金	335,123,029円
(e) 分配可能額(a+b+c+d)	2,559,816,675円
1 万 口 当 たり 分 配 可 能 額	2,788.85円
(f) 分配金額	0円
1 万 口 当 たり 分 配 金 額 (税 引 前)	0円

フィデリティ・グローバル・コア株式マザーファンド 運用報告書

《第2期》

決算日 2024年3月5日

(計算期間：2023年3月7日から2024年3月5日まで)

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	<ul style="list-style-type: none">●主として米国を中心に世界(日本を含みます。)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている中型企業の株式に投資を行ない、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。●株式への投資は、高位を維持することを基本とします。●FIAM LLCに、運用の指図に関する権限を委託します。
主要運用対象	米国を中心に世界(日本を含みます。)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式を主要な投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数) [※]		株式組入等比率	株式先物比率	投資証券組入比率	純資産総額
	期中騰落率	MSCI ワールド・インデックス (税引前配当金込/円ベース)	期中騰落率					
(設定日) 2022年9月22日	円 10,000	% —	1,621,999.47	% —	% —	% —	% —	百万円 6,243
1期 (2023年3月6日)	10,543	5.4	1,694,634.32	4.5	90.8	—	5.7	11,408
2期 (2024年3月5日)	12,916	22.5	2,305,170.53	36.0	95.9	—	3.8	14,041

※当ファンドは、ベンチマークを設定していません。参考指数としてMSCI ワールド・インデックス (税引前配当金込/円ベース) を記載しております。

MSCI ワールド・インデックスとは、MSCI Inc. が算出する、世界主要国の株式市場の動きを示す指数です。MSCI ワールド・インデックスに関する著作権、およびその他の知的所有権はMSCI Inc. に帰属しております。MSCI Inc. が指数構成銘柄への投資を推奨するものではなく、MSCI Inc. は当指数の利用に伴う如何なる責任も負いません。MSCI Inc. は情報の確実性および完結性を保証するものではなく、MSCI Inc. の許諾なしにデータを複製・頒布・使用等することは禁じられております。

MSCI ワールド・インデックス (税引前配当金込/円ベース) は、WM Reutersが発表する換算レートをもとに委託会社が算出しています。

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

(注2) (設定日) 参考指数はファンド設定日前営業日 (2022年9月21日) の値です。

(注3) 新株予約権証券の組入がある場合には、「株式組入比率等」に含みます。

(注4) 株式先物比率=買建比率-売建比率

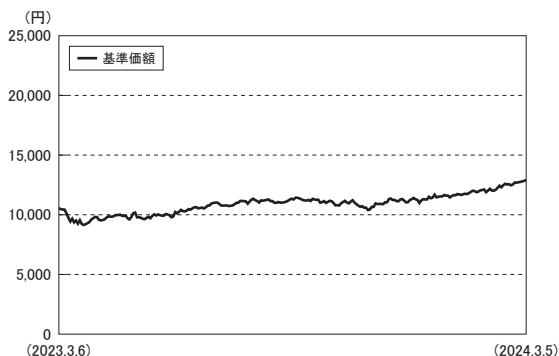
■当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		(参考指数)		株式組入比率等	株式先物比率	投資証券組入比率
	騰落率	MSCI ワールド・インデックス (税引前配当金込/円ベース)	騰落率				
(期首) 2023年3月6日	円 10,543	% —	1,694,634.32	% —	% 90.8	% —	% 5.7
3月末	9,711	△7.9	1,679,949.77	△0.9	89.5	—	5.6
4月末	9,807	△7.0	1,749,771.79	3.3	92.5	—	5.7
5月末	9,951	△5.6	1,778,838.50	5.0	93.0	—	5.5
6月末	10,946	3.8	1,952,197.32	15.2	94.7	—	5.1
7月末	11,103	5.3	1,983,988.90	17.1	94.2	—	5.3
8月末	11,343	7.6	1,985,208.92	17.1	94.7	—	4.5
9月末	11,170	5.9	1,947,774.85	14.9	93.9	—	4.5
10月末	10,435	△1.0	1,919,863.76	13.3	93.6	—	4.3
11月末	11,058	4.9	2,050,761.36	21.0	94.3	—	4.4
12月末	11,604	10.1	2,052,362.37	21.1	93.9	—	4.4
2024年1月末	12,112	14.9	2,154,018.56	27.1	95.8	—	4.2
2月末	12,759	21.0	2,299,886.39	35.7	96.9	—	3.8
(期末) 2024年3月5日	12,916	22.5	2,305,170.53	36.0	95.9	—	3.8

(注) 騰落率は期首比です。

■運用経過の説明

●基準価額の推移



●基準価額の変動要因

当期の当ファンドの騰落率は、+22.5%でした。

<プラス要因>

株式相場が上昇したこと。米ドルが対円で上昇し、円安となったこと。

<マイナス要因>

特になし。

●投資環境

当期の株式相場は総じて上昇しました。当期の主要株価指数の騰落率は、世界株式(MSCIワールド)+20.8%、米国株式(S&P500種指数)+25.4%、欧州株式(MSCIヨーロッパ)+5.6%、日本株式(東証株価指数)+33.6%でした。(いずれも現地通貨ベース)

期初から2023年4月にかけては、米国では、金融不安による経済活動への影響が警戒されたものの、米国株式市場では大きな混乱がなく、小幅ながら総じて上昇する展開となりました。日本では、東証の企業に対する経営改善の要請などを背景に日本株への期待が広がるなか、海外投資家による買い越し基調が継続し、上昇しました。5月は、米国では、追加利上げを巡る警戒感が根強く、まちまちの展開となりました。欧州では、欧州中央銀行(ECB)が小幅な利上げを発表し、金融引き締めを継続する姿勢を示したことから相場は下落しました。また、4月の英消費者物価指数(CPI)が市場予想を上振れ、イングランド銀行(BOE)による金融引き締めの長期化が懸念されたことも重石となりました。6月は、米国では、今後の追加利上げが想定されるものの、利上げサイクルの終了が意識されるようになり、投資家心理が改善しました。日本では、海外投資家からの資金流入が続くなか、日銀が金融緩和政策を維持したことなどを背景に上昇しました。7月は、米国では、インフレ懸念が後退し、景気悪化への警戒感が和らぎました。良好な雇用環境が続いていることから、景気の先行きに楽観的な見方が広がり上昇しました。日本では、日銀短観で企業の景況感が改善したことが好感されたものの、日銀が金融緩和策を修正したことを受け、軟調に推移する場面が見られました。その後、米国株の上昇や円安推移が追い風となり、日本株は上昇しました。8月から9月にかけては、米国では、根強いインフレ圧力や景気の底堅さなどから追加利上げの可能性が意識され、米長期金利が上昇するなかで株式市場は下落しました。欧州では、域内の軟調な経済指標や、中国の不動産大手企業の経営不安を背景に中国の景気後退懸念が再燃したことも嫌気され、欧州株は下落しました。

10月は、米国では、高水準のインフレを受けて、追加利上げなど、金融引き締めの長期化が投資家心理を悪化させ、下落しました。日本では、高止まりする米長期金利を背景に景気後退が警戒され、下落しました。欧州では、中東情勢の不透明感の高まりや欧州企業のさえない決算発表を背景に下落しました。11月は、米国では、金融政策が引き締め局面から転換していくとの期待から、上昇しました。日本では、米連邦準備制度理事会(FRB)による利上げの打ち止め観測が強まり米国株が堅調に推移する中で、日本株も上昇しました。欧州では、好調な企業決算を背景に素材や情報技

術など幅広い業種に買いが入りました。12月は、米国では、インフレが落ち着いていくとの観測が強まり、株式市場では安心感が広がりました。金融政策は利上げ局面が終了し、2024年には利下げに転じるとの楽観的な見方も台頭する中、米国株は上昇しました。日本では、米国で早期の利下げ観測が高まり、騰勢を強めた米国株の動きが支えとなる一方で、米長期金利の低下に伴う円高進行や日本の政治の不透明感などが嫌気され、日本株は下落しました。欧州では、ECB高官のハト派的な発言を受けて利下げ観測が強まったことが好感され、欧州株は上昇しました。2024年1月は、米国では、生成AIが本格的に普及していくとの観測や企業の決算が市場予想を上回ったことを背景に、上昇しました。日本では、世界的に半導体需要の拡大期待が強まる中で関連銘柄を中心に日本株は上昇しました。欧州では、米国の早期利下げ期待が後退したことが嫌気された一方、好調な決算を受けてテクノロジー株を中心に欧州株は上昇しました。2月から期末にかけては、米国では、米国企業で良好な決算の発表が相次ぎ、上昇しました。日本では、主要企業が好決算や株主還元策を発表する中、上昇しました。欧州では、米半導体大手の好決算や米国株式の上昇基調を背景に欧州株は上昇しました。

当期の米ドル/円相場は約10.3%の円安・米ドル高(1米ドル=135.94円→150.00円)でした。(WMロイター使用)

●ポートフォリオ

当ファンドは、主として米国を中心に世界(日本を含みます。)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている中型企業の株式に投資を行ない、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。個別銘柄選択にあたっては、世界の主要拠点のアナリストによる徹底的な企業分析や直接面談による調査を活かした「ボトム・アップ・アプローチ」により、魅力的な投資機会の発掘に注力します。

当期において、当ファンドは上記方針に沿った運用を行いました。なお、当ファンドにおける組入上位10業種の比率は以下の通りとなりました。

組入上位10業種

前期末

	業種	比率
1	資本財	15.4%
2	エネルギー	8.3
3	銀行	7.9
4	保険	7.6
5	素材	7.6
6	不動産	6.3
7	ソフトウェア・サービス	5.7
8	消費者サービス	5.2
9	ヘルスケア機器・サービス	5.0
10	公益事業	4.7



当期末

	業種	比率
1	資本財	16.6%
2	保険	7.4
3	素材	7.0
4	耐久消費財・アパレル	5.6
5	エネルギー	5.5
6	銀行	5.3
7	公益事業	5.0
8	ヘルスケア機器・サービス	5.0
9	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	5.0
10	商業・専門サービス	5.0

(注)「比率」欄は、純資産総額に対する割合です。

■今後の運用方針

米国では、中央銀行による利下げ開始時期を模索する展開が続いています。景気や金融政策の先行きに注目が集まる中、市場では企業ファンダメンタルズが強いものの、魅力的なバリュエーション水準となっている企業が見られました。企業ファンダメンタルズに着目する運用方針はマクロ動向によって変化することはなく、市場が気付いておらず、着実かつ大幅な利益成長が見込める銘柄を徹底した分析で見いだすことに注力します。足元のような環境では特にバリュエーションやキャッシュフロー創出力に注目する必要があります。足元にかけては情報技術セクターが市場をけん引する形となりましたが、今後は幅広い業種の中から投資妙味の高い銘柄に着目し、ボトム・アップの企業調査による選別が重要と考えています。また、ボラティリティが高まりやすい今のような局面は、市場が見誤っている有望な銘柄に割安な株価で投資をする好機につながります。引き続き、徹底した企業調査を行い、市場の見誤りに気付き、確信を持つる優れた企業に投資することで、長期的な運用成果を目指す方針です。

■ 1 万口（元本10,000円）当たりの費用明細

（2023年3月7日～2024年3月5日）

項目	金額
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資証券)	4円 (4) (0)
(b) 有価証券取引税 (株式)	1 (1)
(c) その他費用 (保管費用)	7 (7)
合計	12

(注) 費用明細の項目の概要および注記については、前述の「1 万口（元本10,000円）当たりの費用明細」をご参照ください。

■ 売買及び取引の状況（2023年3月7日から2024年3月5日まで）

(1) 株 式

	買 付		売 付	
	株 数	金 額	株 数	金 額
外国	百株		百株	
アメリカ	8,598.37 (178.75)	千アメリカ・ドル 43,129 (△470)	8,017.77	千アメリカ・ドル 39,805
カナダ	792.24 (-)	千カナダ・ドル 3,096 (-)	1,668.27	千カナダ・ドル 2,620
オーストラリア	5 (-)	千オーストラリア・ドル 12 (-)	131.75	千オーストラリア・ドル 363
イギリス	536.55 (-)	千イギリス・ポンド 673 (-)	122.14	千イギリス・ポンド 99
ユーロ	千ユーロ		千ユーロ	
ベルギー	32.36 (-)	251 (-)	8	57
フランス	13.7 (-)	300 (-)	2	48
イタリア	171.86 (-)	1,490 (-)	62.92	485

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託受益証券、投資証券

	買 付		売 付	
	単位数又は口数	金 額	単位数又は口数	金 額
外国	千口		千口	
(アメリカ)		千アメリカ・ドル		千アメリカ・ドル
CORECIVIC INC	5.745 (-)	55 (-)	27.202 (-)	305 (-)
ESSEX PROPERTY TRUST INC	0.276 (-)	64 (-)	0.14 (-)	30 (-)
WELLTOWER INC	1.114 (-)	90 (-)	0.7 (-)	59 (-)
COUSINS PROPERTIES INC	1.943 (-)	41 (-)	14.681 (-)	295 (-)
CUBESMART	10.8 (-)	473 (-)	- (-)	- (-)
GAMING AND LEISURE PROPRTI INC	3.6 (-)	175 (-)	1.98 (-)	91 (-)
HEALTHCARE REALTY TRUST INC	5.317 (-)	103 (-)	38.76 (-)	717 (-)
REALTY INCOME CORP REIT	2.053 (9.917)	121 (-)	3.266 (-)	180 (-)
SPIRIT RLTY CAP INC	4.383 (△13.015)	176 (-)	3.065 (-)	119 (-)
VICI PPTYS INC	5.825 (-)	184 (-)	26.555 (-)	782 (-)
OMEGA HEALTHCARE INVESTORS INC	15.3 (-)	494 (-)	1.199 (-)	37 (-)
NNN REIT INC	2.833 (-)	121 (-)	16.885 (-)	645 (-)
VENTAS INC	11.4 (-)	498 (-)	0.585 (-)	25 (-)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	13,169,044千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	11,721,021千円
(c) 売 買 高 比 率(a)/(b)	1.12

(注1) 売買高比率は小数点以下2位未満切捨て。

(注2) 期中の株式売買金額には、増資、配当株式等は含まれておりません。なお、単位未満は切捨て。

(注3) 期中の平均組入株式時価総額は、月末に残高がない月数を除いた単純平均とし、単位未満は切捨て。

(注4) 外貨建株式の邦貨換算は、期中の株式売買金額、期中の平均組入株式時価総額とも各月末(決算日の属する月については決算日)の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

■当期中の主要な売買銘柄 (2023年3月7日から2024年3月5日まで)

●株 式

買 付				売 付			
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
BRUNELLO CUCINELLI SPA	16.585	218,817	13,193	HESS CORP	12.695	267,353	21,059
CROWN HOLDINGS INC	9.5	119,013	12,527	BUILDERS FIRSTSOURCE	15.178	261,202	17,209
REPLIGEN	4.858	117,370	24,160	RENAISSANCERE HOLDINGS LTD	6.336	203,574	32,129
CHART INDUSTRIES INC	5.738	113,716	19,818	ARCH CAPITAL GROUP LTD	13.145	144,023	10,956
BJS WHSL CLUB HLDGS INC	12.432	112,984	9,088	MOLINA HEALTHCARE INC	2.754	139,214	50,549
ESSENTIAL UTILITIES INC	19.8	107,749	5,441	OGE ENERGY CORP	26.169	133,061	5,084
CIENA CORP	13.5	103,216	7,645	EQT CORPORATION	23.434	125,801	5,368
WILLSCOT MOBILE MINI HOLDINGS	17	102,317	6,018	OSHKOSH CORP	8.345	117,377	14,065
FOOT LOCKER INC	22.1	98,533	4,458	INTERPUBLIC GROUP OF COS INC	18.502	100,351	5,423
US BANCORP DEL	20.652	98,209	4,755	DUOLINGO INC	3.272	91,832	28,066

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等 (2023年3月7日から2024年3月5日まで)

期中における当ファンドに係る利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細 (2024年3月5日現在)

(1) 外国株式

上場、登録株式

銘柄	期首 (前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ・・・Choe BZX)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
CBOE HOLDINGS INC	20.49	23.19	439	66,053	金融サービス
(アメリカ・・・NASDAQ)					
SKYWORKS SOLUTIONS INC	25.1	—	—	—	半導体・半導体製造装置
DENTSPLY SIRONA INC	—	82	272	41,049	ヘルスケア機器・サービス
HOLOGIC INC	93.57	106.03	790	118,979	ヘルスケア機器・サービス
HUNTINGTON BANCSHARES INC	487.03	477.56	638	95,970	銀行
LATTICE SEMICOMDUCTOR CORP	—	84	666	100,185	半導体・半導体製造装置
NORTHERN TRUST CORP	37.35	—	—	—	金融サービス
PACCAR INC	58.48	—	—	—	資本財
REPLIGEN	—	41.58	813	122,412	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
STEEL DYNAMICS INC	56.43	—	—	—	素材
GEN DIGITAL INC	—	114	247	37,210	ソフトウェア・サービス
COHERENT CORP	—	81	541	81,498	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
EURONET WORLDWIDE INC	35.93	—	—	—	金融サービス
MKS INSTRUMENTS INC	—	42	532	80,139	半導体・半導体製造装置
AMDOCS LTD	58.51	71.99	663	99,830	ソフトウェア・サービス
AKAMAI TECHNOLOGIES INC	35.18	—	—	—	ソフトウェア・サービス
FLEX LTD	146	275	824	123,972	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ARCH CAPITAL GROUP LTD	249.85	153.88	1,340	201,699	保険
HENRY SCHEIN INC	46.47	52.53	403	60,676	ヘルスケア機器・サービス
LKQ CORP	—	88	458	68,951	一般消費財・サービス流通・小売り
ON SEMICONDUCTOR CORP	—	18	143	21,627	半導体・半導体製造装置
ALLIANT ENERGY CORPORATION	118.99	111.99	543	81,768	公益事業
KEURIG DR PEPPER INC	—	154.48	449	67,619	食品・飲料・タバコ
BEACON ROOFING SUPPLY INC	70.15	42.31	364	54,770	資本財
CHURCHILL DOWNS INC	32.31	72.36	842	126,748	消費者サービス
GOLAR LNG LTD (NASDAQ)	185.56	—	—	—	エネルギー
SS&C TECHNOLOGIES HOLDINGS INC	66.38	67.31	426	64,201	商業・専門サービス
LIBERTY FORMULA ONE-A	34.62	—	—	—	メディア・娯楽
LUMENTUM HOLDINGS INC	59.7	70.2	356	53,599	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
MONGODB INC CL A	14.58	15.1	662	99,711	ソフトウェア・サービス
NATIONAL VISION HOLDINGS INC	90.67	—	—	—	一般消費財・サービス流通・小売り
ZIFF DAVIS INC	39.99	46.95	323	48,644	メディア・娯楽
GROCERY OUTLET HOLDING CORP	145.56	—	—	—	生活必需品流通・小売り
10X GENOMICS INC	28.82	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
REYNOLDS CONSUMER PRODUCTS INC	72.73	—	—	—	家庭用品・パーソナル用品
ALLEGRO MICROSYSTEMS INC	—	147	456	68,723	半導体・半導体製造装置
VIATRIS INC	159.22	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CONCENTRIX CORP	21	—	—	—	商業・専門サービス
FLYWIRE CORP	—	102	278	41,839	金融サービス
LIFESTANCE HEALTH GROUP INC	163.56	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
DUOLINGO INC	25.22	—	—	—	消費者サービス

フィデリティ・グローバル・コア株式マザーファンド

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
OLAPLEX HOLDINGS INC	336.93	—	—	—	家庭用品・パーソナル用品
DAY ONE BIOPHARMACEUTICALS INC	52.63	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
NEXTRACKER INC CL A	—	64.12	363	54,744	資本財
MAPLEBEAR INC	—	88	296	44,608	メディア
BOK FINANCIAL COMMON NEW	81.77	54.7	465	70,052	銀行
BUILDERS FIRSTSOURCE	134.7	—	—	—	資本財
CAESARS ENTERTAINMENT INC	63.32	73.01	303	45,652	消費者サービス
ENERGY RECOVERY INC	—	72	112	16,992	資本財
FRESHPET INC	48.09	—	—	—	食品・飲料・タバコ
MASIMO CORP	35.4	45.35	575	86,544	ヘルスケア機器・サービス
WILLSCOT MOBILE MINI HOLDINGS	—	151	721	108,456	資本財
TANDEM DIABETES CARE INC	63.63	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
UMB FINANCIAL CORP	57.62	—	—	—	銀行
WINTRUST FINANCIAL CORP	102.23	98.74	954	143,608	銀行
WOODWARD INC	48.61	52.49	759	114,177	資本財
WARNER MUSIC GRP CORP CL A	138.27	113.82	403	60,641	メディア・娯楽
TPG INC	110.65	—	—	—	金融サービス
ASPEN TECHNOLOGY INC	17.05	—	—	—	ソフトウェア・サービス
LIBERTY MEDIA CORP LIBERTY FOR (アメリカ・・・ニューヨーク証券取引所)	—	39.5	262	39,410	メディア・娯楽
AES CORP	148.16	173	278	41,818	公益事業
AVERY DENNISON CORP	16.16	23.15	500	75,261	素材
BEST BUY CO INC	26.34	—	—	—	一般消費財・サービス流通・小売り
BLOCK H & R INC	165.98	143.31	723	108,839	消費者サービス
BOSTON BEER COMPANY CL A	11.05	10.17	304	45,838	食品・飲料・タバコ
BRUNSWICK CORP	—	56	494	74,388	耐久消費財・アパレル
CABOT CORP	55.03	82.01	709	106,755	素材
COMERICA INC	90.45	—	—	—	銀行
COMMERCIAL METALS CO	145.19	159.65	846	127,397	素材
CROWN HOLDINGS INC	—	93	705	106,176	素材
DONALDSON CO INC	130.81	147.29	1,070	161,047	資本財
M&T BANK CORP	50.14	56.59	791	119,129	銀行
HARTFORD FINL SVCS GROUP INC	69.42	91.51	867	130,505	保険
INTERPUBLIC GROUP OF COS INC	164.38	119	380	57,172	メディア・娯楽
KIRBY CORP	49.13	—	—	—	運輸
MOHAWK INDUSTRIES INC	24.64	20.27	244	36,841	耐久消費財・アパレル
NISOURCE INC	130.27	250.33	666	100,198	公益事業
NOV INC	—	245.8	414	62,373	エネルギー
OSHKOSH CORP	68.45	—	—	—	資本財
PNC FINANCIAL SERVICES GRP INC	—	41.69	640	96,410	銀行
RAYMOND JAMES FINANCIAL INC.	41.05	46.37	560	84,306	金融サービス
REGAL REXNORD CORP	62.27	76.06	1,307	196,727	資本財
TRAVELERS COMPANIES INC	24.08	27.18	595	89,564	保険
STEWART INFORMATION SERVICES	—	30	186	28,113	保険
GLOBE LIFE INC	—	46	580	87,391	保険
FOOT LOCKER INC	—	72	244	36,714	一般消費財・サービス流通・小売り

フィデリティ・グローバル・コア株式マザーファンド

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
VAIL RESORTS INC	16.87	18.9	411	61,956	消費者サービス
FIRSTENERGY CORP	106.91	119.36	444	66,915	公益事業
AMERICAN FINANCIAL GROUP INC	89.59	98.56	1,255	188,831	保険
ATMOS ENERGY CORP	45.36	50.8	582	87,630	公益事業
FREEPORT MCMORAN INC	126.58	139.58	534	80,455	素材
OWENS CORNING INC	65.32	59.86	914	137,592	資本財
DR HORTON INC	54.44	28.55	435	65,478	耐久消費財・アパレル
TAPESTRY INC	129.46	184.52	872	131,227	耐久消費財・アパレル
CHARLES RIVER LABS INTL INC	—	21.46	555	83,579	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
US BANCORP DEL	—	140.55	600	90,274	銀行
OGE ENERGY CORP	201.39	—	—	—	公益事業
AMERICAN AXLE & MFG HLDGS INC	453.48	217.34	146	22,099	自動車・自動車部品
RADIAN GROUP INC	363.94	298.89	870	130,920	金融サービス
BUNGE LIMITED	42.56	—	—	—	食品・飲料・タバコ
CENTENE CORP	106.74	103.75	812	122,226	ヘルスケア機器・サービス
EMCOR GROUP INC	—	19	615	92,532	資本財
RENAISSANCERE HOLDINGS LTD	50.48	—	—	—	保険
ACUITY BRANDS INC	36.71	43.24	1,112	167,365	資本財
ASSURANT INC	22.96	19.67	350	52,674	保険
ASGN INC	14.78	—	—	—	商業・専門サービス
DOMINOS PIZZA INC	13.46	13.43	604	90,904	消費者サービス
LAZARD INC CL A	—	93	370	55,676	金融サービス
CF INDUSTRIES HOLDINGS INC	53.83	59.85	477	71,895	素材
JONES LANG LASALLE INC	29.67	34.11	653	98,239	不動産管理・開発
RANGE RESOURCES CORP	139.94	236.75	765	115,168	エネルギー
COMFORT SYSTEMS USA INC	—	8	256	38,531	資本財
HESS CORP	112.75	—	—	—	エネルギー
WNS HLDGS LTD SP ADR	135.32	142.13	840	126,415	商業・専門サービス
CIENA CORP	—	135	843	126,876	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
JOHNSON CONTROLS INTERNATL PLC	51.71	97.09	586	88,151	資本財
NVR INC	0.91	0.66	505	75,965	耐久消費財・アパレル
EQT CORPORATION	228.38	—	—	—	エネルギー
AECOM	145.74	134.6	1,208	181,834	資本財
IDACORP INC	54.84	49.96	442	66,567	公益事業
FIRST AMERICAN FINANCIAL CORP	134.74	152.72	885	133,238	保険
GRAPHIC PACKAGING HOLDING CO	—	115	293	44,110	素材
APTIV PLC	60.47	73.2	574	86,423	自動車・自動車部品
CHENIERE ENERGY INC	76.74	74.07	1,135	170,767	エネルギー
HUNTINGTON INGALLSIndustr INC	25.7	21.67	642	96,624	資本財
FORTUNE BRANDS INNOVATIONS INC	32.14	—	—	—	資本財
GENERAC HOLDINGS INC	39.98	38.84	439	66,146	資本財
LEIDOS HOLDINGS INC	46.72	52.31	677	101,912	商業・専門サービス
SCIENCE APPLICATIONS INTL CORP	52.53	55.54	794	119,441	商業・専門サービス
BURLINGTON STORES INC	—	40	833	125,396	一般消費財・サービス流通・小売り
ARAMARK	123.12	226.36	702	105,620	消費者サービス
CAMECO CORP (US)	—	44	181	27,334	エネルギー

フィデリティ・グローバル・コア株式マザーファンド

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
ALLISON TRANSMISSION HLDGS INC	135.27	97.14	740	111,356	資本財
KEYSIGHT TECHNOLOGIES INC	15.43	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
WEX INC	—	27	599	90,153	金融サービス
ENERGIZER HLDGS INC	76.57	115.18	324	48,788	家庭用品・パーソナル用品
CABLE ONE INC	4.7	—	—	—	メディア・娯楽
BWX TECHNOLOGIES INC	72.76	79.84	833	125,355	資本財
EXPRO GROUP HOLDINGS NV	230.39	231.33	423	63,712	エネルギー
TRANSUNION	64.19	111.49	880	132,452	商業・専門サービス
FORTIVE CORP	97.46	103.46	877	131,954	資本財
FABRINET	47.49	39	865	130,186	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
LAMB WESTON HOLDINGS INC	—	41	419	63,053	食品・飲料・タバコ
PERFORMANCE FOOD GROUP CO	160.19	172.26	1,334	200,709	生活必需品流通・小売り
BLACK KNIGHT INC	61.72	—	—	—	ソフトウェア・サービス
VISTRA CORP	171.12	189.66	1,080	162,584	公益事業
SENSATA TECHNOLOGIES HLDG PLC	104.22	—	—	—	資本財
INSPIRE MEDICAL SYSTEMS INC	—	11	201	30,360	ヘルスケア機器・サービス
WYNDHAM HOTELS & RESORTS INC	130.57	84.86	641	96,500	消費者サービス
ELANCO ANIMAL HEALTH INC	—	99	160	24,079	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
EQUITABLE HOLDINGS INC	72.57	—	—	—	金融サービス
CHART INDUSTRIES INC	29.61	75.55	1,082	162,849	資本財
CHEWY INC	—	87	154	23,176	一般消費財・サービス流通・小売り
DYNATRACE INC	153.42	179.6	878	132,105	ソフトウェア・サービス
VERTIV HOLDINGS LLC	—	84.99	609	91,649	資本財
O-I GLASS INC	419.6	439.44	739	111,247	素材
SHIFT4 PAYMENTS INC	—	25.56	207	31,150	金融サービス
VONTIER CORP	—	141	614	92,387	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
COUPANG INC A	27.18	—	—	—	一般消費財・サービス流通・小売り
ENDEAVOR GROUP HOLDINGS INC	272.7	225.41	553	83,205	メディア・娯楽
GXO LOGISTICS INC	64.3	72.53	361	54,407	運輸
HAYWARD HOLDINGS INC	—	164.82	233	35,105	資本財
RXO INC	192.27	—	—	—	運輸
TKO GROUP HOLDINGS INC	—	57	465	70,023	メディア・娯楽
BUNGE GLOBAL SA	—	32.48	292	44,014	食品・飲料・タバコ
ESSENTIAL UTILITIES INC	—	190	673	101,343	公益事業
CELANESE CORP	25.74	26.24	406	61,135	素材
EVOLENT HEALTH INC A	—	88	305	45,958	ヘルスケア機器・サービス
FIRST HORIZON CORP	541.66	603.58	864	130,102	銀行
MOLINA HEALTHCARE INC	48.95	34.3	1,325	199,436	ヘルスケア機器・サービス
PVH CORP	80.57	99.05	1,363	205,071	耐久消費財・アパレル
KNIGHT-SWIFT TRANSPORTATION HO	142.17	167.69	918	138,151	運輸
WESTLAKE CORP	39.37	43.57	610	91,812	素材
NOMAD FOODS LTD (US)	204.29	243.34	475	71,595	食品・飲料・タバコ
BJS WHSL CLUB HLDGS INC	—	106.32	755	113,691	生活必需品流通・小売り
CLARIVATE PLC	64	—	—	—	商業・専門サービス
ALBERTSONS COS INC	155	—	—	—	生活必需品流通・小売り
CRANE NXT CO	61.03	107.28	638	96,047	テクノロジー・ハードウェアおよび機器

フィデリティ・グローバル・コア株式マザーファンド

銘柄		期首 (前期末)		当 期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
ATMUS FILTRATION TECHN INC		百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	自動車・自動車部品 資本財
CRANE CO		—	61	141	21,296	
(アメリカ・・・OTC) SIGNATURE BANK		—	54.66	688	103,522	
小 計	株 数、金 額	12,919.17	13,678.52	81,787	12,302,490	
	銘柄 数 <比 率>	133銘柄	136銘柄	—	<87.6%>	
(カナダ・・・トロント)		百株	百株	千カナダ・ドル	千円	エネルギー エネルギー 素材 素材 素材 素材 商業・専門サービス
CANADIAN NATURAL RESOURCES		142.13	125.14	1,198	132,760	
IMPERIAL OIL LTD		214.17	209.79	1,779	197,156	
LUNDIN MINING CORP		557.29	—	—	—	
FRANCO-NEVADA CORP		2.42	36.91	548	60,752	
NOVAGOLD RESOURCES INC		390.65	—	—	—	
NUTRIEN LTD		47.05	54.62	377	41,858	
GFL ENVIRONMENTAL INC		246.74	297.96	1,425	157,986	
小 計	株 数、金 額	1,600.45	724.42	5,329	590,514	
	銘柄 数 <比 率>	7銘柄	5銘柄	—	<4.2%>	
(オーストラリア・・・オーストラリア)		百株	百株	千オーストラリア・ドル	千円	素材
NEWCREST MINING LTD		126.75	—	—	—	
小 計	株 数、金 額	126.75	—	—	—	
	銘柄 数 <比 率>	1銘柄	—	—	<—>	
(イギリス・・・ロンドン)		百株	百株	千イギリス・ポンド	千円	保険 消費者サービス 保険
HISCOX LTD (NE HISCOX BERMUDA)		—	329.54	369	70,535	
FLUTTER ENTERTAINMENT PLC		—	17	286	54,678	
BEAZLEY PLC/UK		434.25	502.12	327	62,510	
小 計	株 数、金 額	434.25	848.66	983	187,724	
	銘柄 数 <比 率>	1銘柄	3銘柄	—	<1.3%>	
ユーロ (ベルギー・・・EURONEXT ブリュッセル)		百株	百株	千ユーロ	千円	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
UCB SA		21.68	46.04	496	81,107	
小 計	株 数、金 額	21.68	46.04	496	81,107	
	銘柄 数 <比 率>	1銘柄	1銘柄	—	<0.6%>	
ユーロ (フランス・・・EURONEXT パリ)		百株	百株	千ユーロ	千円	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
SARTORIUS STEDIM BIOTECH		—	11.7	292	47,813	
小 計	株 数、金 額	—	11.7	292	47,813	
	銘柄 数 <比 率>	—	1銘柄	—	<0.3%>	
ユーロ (イタリア・・・ミラノ)		百株	百株	千ユーロ	千円	耐久消費財・アパレル 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BRUNELLO CUCINELLI SPA		—	106.93	1,211	197,804	
RECORDATI SPA		68.05	70.06	362	59,160	
小 計	株 数、金 額	68.05	176.99	1,573	256,965	
	銘柄 数 <比 率>	1銘柄	2銘柄	—	<1.8%>	
ユーロ計	株 数、金 額	89.73	234.73	2,363	385,886	
	銘柄 数 <比 率>	2銘柄	4銘柄	—	<2.7%>	
合 計	株 数、金 額	15,170.35	15,486.33	—	13,466,616	
	銘柄 数 <比 率>	144銘柄	148銘柄	—	<95.9%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) < >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託受益証券、投資証券

銘	柄	期首(前期末)	当	期末	
		単位数又は口数	単位数又は口数	評価額	
				外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)		千口	千口	千アメリカ・ドル	千円
CORECIVIC INC		21.457	—	—	—
ESSEX PROPERTY TRUST INC		1	1.136	276	41,622
WELLTOWER INC		2.512	2.926	273	41,108
COUSINS PROPERTIES INC		12.738	—	—	—
CUBESMART		—	10.8	481	72,438
GAMING AND LEISURE PROPRTI INC		13.293	14.913	690	103,928
HEALTHCARE REALTY TRUST INC		33.443	—	—	—
REALTY INCOME CORP REIT		8.658	17.362	915	137,657
SPIRIT RLTY CAP INC		11.697	—	—	—
VICI PPTYS INC		20.73	—	—	—
OMEGA HEALTHCARE INVESTORS INC		—	14.101	444	66,792
NNN REIT INC		14.052	—	—	—
VENTAS INC		—	10.815	476	71,741
小計	口数、金額	139.58	72.053	3,558	535,287
	銘柄数<比率>	10	7	—	<3.8%>
合計	口数、金額	139.58	72.053	—	535,287
	銘柄数<比率>	10	7	—	<3.8%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) < >内は、純資産総額に対する各国別投資信託受益証券、投資証券評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■ 投資信託財産の構成

(2024年3月5日現在)

項目	当	期末
	評価額	比率
株式	千円 13,466,616	% 95.6
投資証券	535,287	3.8
コール・ローン等、その他	86,761	0.6
投資信託財産総額	14,088,665	100.0

(注1) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、3月5日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=150.42円、1カナダ・ドル=110.81円、1イギリス・ポンド=190.94円、1ユーロ=163.27円です。

(注2) 当期末における外貨建資産(14,087,979千円)の投資信託財産総額(14,088,665千円)に対する比率は、100.0%です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年3月5日現在)

項目	当期末
(A) 資産	14,138,030,371円
コール・ローン等	64,785,031
株式(評価額)	13,466,616,531
投資証券(評価額)	535,287,557
未収入金	60,305,702
未収配当金	11,035,550
(B) 負債	96,671,691
未払金	50,113,186
未払解約金	46,557,165
その他未払費用	1,340
(C) 純資産総額(A-B)	14,041,358,680
元本	10,871,019,684
次期繰越損益金	3,170,338,996
(D) 受益権総口数	10,871,019,684口
1万口当り基準価額(C/D)	12,916円

(注1) 当ファンドの期首元本額、期中追加設定元本額、期中一部解約元本額は以下の通りです。

期首元本額	10,820,386,974円
期中追加設定元本額	2,448,316,757円
期中一部解約元本額	2,397,684,047円

(注2) 当ファンドの当期末元本額の内訳は以下の通りです。

フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)	1,782,966,918円
フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	9,088,052,766円

(注3) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

■損益の状況

当期 自2023年3月7日 至2024年3月5日

項目	当期
(A) 配当等収益	203,931,591
受取配当金	193,751,857
受取利息	9,504,800
その他収益金	674,934
(B) 有価証券売買損益	2,459,106,264
売買益	3,705,495,008
売買損	△1,246,388,744
(C) 信託報酬等	△8,450,276
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,654,587,579
(E) 前期繰越損益金	587,709,095
(F) 解約差損益金	△254,698,493
(G) 追加信託差損益金	182,740,815
(H) 合計(D+E+F+G)	3,170,338,996
次期繰越損益金(H)	3,170,338,996

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示していません。

(注3) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注4) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

マナー・インベストメント・マザーファンドⅡ

第1期 運用状況のご報告

決算日：2023年9月27日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として安定運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
投資制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
	円	騰落率			
(設定日) 2022年9月21日	10,000	—	—	—	百万円 12
1期(2023年9月27日)	9,994	△0.1	98.0	—	26

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。

(注) 当ファンドは、特定の指数を上回るまたは運動する成果を目指した運用を行っておりません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

(注) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

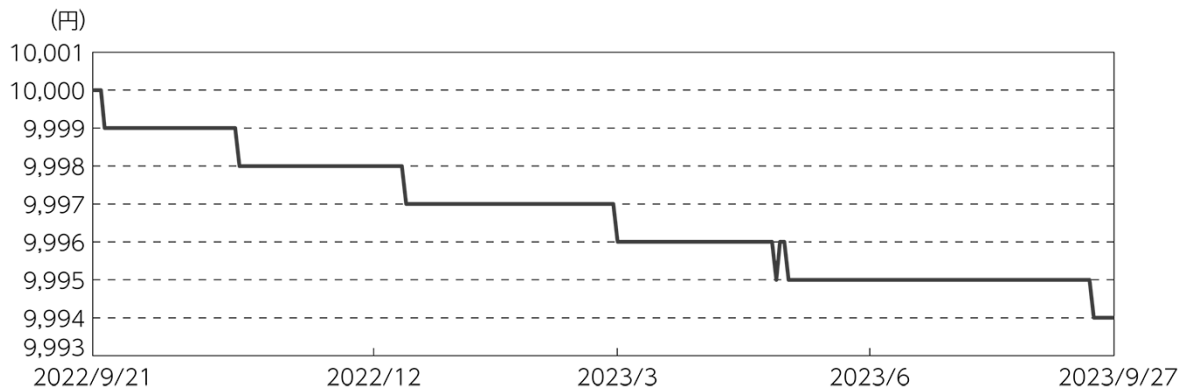
年月日	基準価額		債組入比率	債券先物比率	騰落率
	円	騰落率			
(設定日) 2022年9月21日	10,000	—	—	—	—
9月末	9,999	△0.0	54.0	—	—
10月末	9,999	△0.0	79.5	—	—
11月末	9,998	△0.0	69.3	—	—
12月末	9,998	△0.0	96.1	—	—
2023年1月末	9,997	△0.0	88.5	—	—
2月末	9,997	△0.0	83.0	—	—
3月末	9,996	△0.0	64.1	—	—
4月末	9,996	△0.0	64.2	—	—
5月末	9,996	△0.0	60.4	—	—
6月末	9,995	△0.1	77.6	—	—
7月末	9,995	△0.1	88.8	—	—
8月末	9,995	△0.1	84.8	—	—
(期末) 2023年9月27日	9,994	△0.1	98.0	—	—

(注) 騰落率は設定日比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2022年9月21日～2023年9月27日)



○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・特にありません。

(主なマイナス要因)

- ・日銀のマイナス金利政策の影響により、市中金利がマイナス圏で推移したことが、マイナスに影響しました。

投資環境

(2022年9月21日～2023年9月27日)

短期金融市場では、日銀が2022年12月の金融政策決定会合において金融緩和政策の一部修正を行ったことから、1年国債利回りが一時プラス圏に上昇する場面が見られました。しかし、2023年1月の金融政策決定会合において、マイナス金利を含む金融緩和政策の継続を決定したことから、1年国債利回りは再度マイナス圏へ低下しました。その後、植田日銀新総裁が就任した後の金融政策決定会合において、現状の金融緩和政策の維持が決定されたことから、1年国債利回りが-0.1%台半ばへ低下しました。ただ、7月の金融政策決定会合において、長短金利操作(YCC、イールドカーブ・コントロール)の運用柔軟化が決定されたことを受け、金融緩和の修正期待が高まったことから、1年国債利回りは-0.06%近辺まで上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2022年9月21日～2023年9月27日)

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とした運用を行いました。当期間中は、政府保証債を組み入れました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年9月21日～2023年9月27日)

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

今後の運用方針

(投資環境の見通し)

国内短期金融市場は、当面日銀によるマイナス金利政策の継続が見込まれますが、日銀の植田総裁はマイナス金利解除のための物価・賃金データが2023年末までに揃う可能性があると言っていることから、日銀の利上げリスクが意識される展開を想定しています。こうした投資環境の中、1年国債利回りは0%をやや下回る水準で推移すると予想します。

(運用方針)

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益確保を目的に運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年9月21日～2023年9月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.001 (0.001)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	0	0.001	
期中の平均基準価額は、9,996円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2022年9月21日～2023年9月27日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	特殊債券	千円 45,078	千円 — (18,900)

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還等による増減分です。

○ 利害関係人との取引状況等

(2022年9月21日～2023年9月27日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年9月27日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
特殊債券 (除く金融債)	千円 26,000 (26,000)	千円 26,054 (26,054)	% 98.0 (98.0)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 98.0 (98.0)
合 計	26,000 (26,000)	26,054 (26,054)	98.0 (98.0)	— (—)	— (—)	— (—)	98.0 (98.0)

(注) ()内は非上場債券で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
特殊債券(除く金融債)	%	千円	千円		
第204回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.669	3,000	3,004	2023/11/30	
第207回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.693	4,000	4,007	2023/12/28	
第209回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.747	6,000	6,016	2024/ 1 /31	
第211回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.66	5,000	5,014	2024/ 2 /29	
第213回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.645	3,000	3,009	2024/ 3 /29	
第16回政府保証民間都市開発債券	0.699	5,000	5,002	2023/10/20	
合 計		26,000	26,054		

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年9月27日現在)

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
公社債	千円 26,054	% 95.8		
コール・ローン等、その他	1,134	4.2		
投資信託財産総額	27,188	100.0		

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年9月27日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	27,188,709
コール・ローン等	1,103,419
公社債(評価額)	26,054,589
未収利息	27,362
前払費用	3,339
(B) 負債	600,002
未払解約金	600,000
未払利息	1
その他未払費用	1
(C) 純資産総額(A－B)	26,588,707
元本	26,603,572
次期繰越損益金	△ 14,865
(D) 受益権総口数	26,603,572口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,994円

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は14,865円です。

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、0.9994円です。

(注) 当ファンドの当初設定元本額は12,700,000円、期中追加設定元本額は14,503,934円、期中一部解約元本額は600,362円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

 目三フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(英語ヘッジなし)(愛称 ゼ・ディスカバー) 22,302,993円

 目三フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(英語ヘッジあり)(愛称 ゼ・ディスカバー) 4,300,579円

○損益の状況 (2022年9月21日～2023年9月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	112,676
受取利息	114,416
支払利息	△ 1,740
(B) 有価証券売買損益	△123,846
売買損	△123,846
(C) その他費用等	△ 123
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 11,293
(E) 追加信託差損益金	△ 3,934
(F) 解約差損益金	362
(G) 計(D+E+F)	△ 14,865
次期繰越損益金(G)	△ 14,865

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈お知らせ〉

SBI 岡三アセットマネジメント株式会社への商号変更等に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(実施日：2023年7月1日)